

# 校長室だより

岸和田市立浜小学校 校長：山崎 洋

No. 77 R8(2026)/02/06

「明日も笑顔！ 未来も笑顔!! ~つなげよう“信頼”~」

## ☆韓国のお思い出 その2

前回の続きです。その後、同じ要領で何度か大衆食堂に入って食事をしました。メニューもハングルで読めないし、当てずっぽうに指さしてオーダーするというのも同じです。ただ、どの店でも1品を頼むとキムチやナムルが次々と出てきたし、どの店でも(辛過ぎたりクセが強過ぎたり、多少の当たり外れはありますが)韓国料理らしさを味わうことができました。「最初に入った店は何だったんだろう?」と謎が残りました。

その後、1週間ほどを韓国で過ごしました。自転車で走った距離は知れているのですが、古都の慶州(キョンジュ)や扶余(プヨ)という、日本で言うと京都や奈良のような町にゆっくり滞在できたことはよかったです。ちなみに韓国は車両が右側通行で、それだけで「自分は異国の真っ只中を走っている!」という思いで嬉しくなったものです。

自転車で走っていると、好奇心旺盛な人が話しかけてきてくださるのは、日本と同じです。こちらは韓国語を全く勉強していない身でしたので、多くのおじさんおばさんとは会話を弾ませることができなかつたのですが、自分と同じ世代の学生さんたちとは、お互い片言の英語を使って会話をすることができ、仲良くなることができました。外国に行ってその友達ができるというのは、本当にすばらしい体験です。その一人が、「これを持って帰れ」と、大きな瓶に入った手作りの韓国味噌をくれました。新しく生まれた友情の証ということでありがたくいただいたのですが、あまりに大きな瓶で、少々クセが強く、しかもこちらは学生の一人暮らしで、なかなか底を見ることがなかった記憶があります。

…ところで最初に食事をした店の話ですが、あれはこちらが勝手に韓国流の大衆食堂を期待していただけで、実は「町中華のような店」「チャーハンのような炒めご飯」というより、韓国にある「町中華そのもの」「チャーハンそのもの」だったのではないかと、今は思っています。